

2023年6月1日発行 毎月1回1日発行 第53巻第6号 通巻592号

# NEIGHBOR

vol.592

June 2023

6

ミクロをとらえて無限を描く  
美術作家／山本雄教



写真提供：特定非営利活動法人 ADRA Japan(アドラ・ジャパン)

# あなたの学び、夢の実現が 地域の明るい光になるから



写真1:クシंगा小学校に通う生徒は、360人。通学にあたっては、子どもたちの食事時間の確保は重要で、午前10時の休憩時間にトウモロコシ(メイズ)などそれぞれ持参したものを食べる。ほかの幼児・小学校低学年では、地元の農家から仕入れたサザ(白トウモロコシの固がゆ)・野菜を食べさせる学校給食の取り組みもある  
写真2~4:ニヤミニヤミ地区で実施した学校建設の様子。ADRAの建設エンジニア(写真3の右の女性)が建物の設計と管理を手がけ、現場では住民も参加して建物の土台づくりや組み立てを担った



世界約120カ国に支部があり、国連とも協働している国際NGO。ADRA Japanは『ひとつの命から世界を変える』をモットーに、人種、宗教、政治の区別なく、ウクライナ・エチオピア・シリアをはじめとする災害・紛争国の被災者を支援する。また、ネパール、ミャンマー、ジンバブエなどの途上国においては、人々に寄り添った開発支援に取り組んでいる。



新校舎が建つ前の茅葺き教室(ニヤミニヤミ地区)

特定非営利活動法人  
ADRA Japan(アドラ・ジャパン)  
〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前1-11-1  
TEL/03-5410-0045  
FAX/03-5474-2042  
MAIL/support\_adra@adrajpn.org  
https://www.adrajpn.org/

朝7時半頃に登校して出席確認後、1コマ30分の授業が始まるまでの間、子どもたちはテキストを開いて待ちます。語学や算数はもちろん、10時には食事休憩、実践的な農業を学ぶ時間、将来を考えるキャリアガイダンスもあります。学校は13時に終わり、昼食後の14時以降はサッカーや陸上競技などのスポーツを楽しんで、下校は16時。それがアフリカ・ジンバブエの首都ハラレから約370km離れたゴクウェ・ノース地区に建つクシंगा小学校のとある一日です。

こうした学校生活を過ごせる背景には、地域住民を主体にしたいといったものチャレンジがあります。

まずは、建設業者と建設作業を担う地域住民が的確な技術研修を受け、新校舎が竣工。柱と泥でつくられ雨

の日は使えなかった小教室から一変、学習環境は大きく向上しました。

また、料理や水汲み、畑の手伝いに加えて早婚を強いられる女の子たちや農作業などの働き手として学校に通えていない女の子たちが学べるよう、教育の重要性をコミュニティが共有し、中途退学した子どもを受け入れる特別教室もつくりました。

さらに、地域住民で組織する学校開発委員会は、家畜の飼育・販売で得た収入を学校運営に充てています。この一連の活動を支援するアドラ・ジャパンは生徒数の増加を受け、校舎と併せて教職員の棟と宿舎の建設にも着手。机や椅子といった備品の確保、ITC授業に必要なソーラー発電システムの導入など課題は尽きませんが、みんなで前に進みます。